



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

東

上場会社名 ギークス株式会社

上場取引所

コード番号 7060

URL <https://geechs.com>

代表者（役職名） 代表取締役CEO

（氏名） 曾根原稔人

問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO

（氏名） 佐久間大輔

（TEL） 050-1741-6928

半期報告書提出予定日 2025年11月13日

配当支払開始予定日

2025年12月1日

決算補足説明資料作成の有無

：有

決算説明会開催の有無

：有

（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	12,891	5.8	476	85.8	437	126.2	427	114.5	343	109.2
2025年3月期中間期	12,183	2.2	256	3.5	193	84.3	199	99.7	164	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 344百万円（ 65.7%） 2025年3月期中間期 208百万円（ 36.9%）

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋株式報酬費用＋退職給付費用

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	33.32	33.32
2025年3月期中間期	15.91	15.91

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	7,617	2,888	37.9
2025年3月期	7,374	2,871	37.5

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 2,883百万円 2025年3月期 2,765百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年3月期	—	10.00			
2026年3月期（予想）			—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ： 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	26,600	5.7	880	40.6	800	61.4	770	55.7	550	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	10,330,469株	2025年3月期	10,330,469株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	87,800株	2025年3月期	—株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	10,312,621株	2025年3月期中間期	10,325,669株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
中間連結損益計算書 .....	7
中間連結包括利益計算書 .....	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(企業結合等関係) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社グループは、グランドビジョンとして「21世紀で最も感動を与えた会社になる」を掲げ、ITフリーランスのデータベースや、グローバルで活躍するITエンジニア人材の育成など、人材インフラを活かした事業を展開しております。

DX推進やAIの普及によりめまぐるしく変化する企業活動の動向を的確に捉え、提供サービスの創造と進化を通じて常に成長し続けることで、永続的な企業価値の向上を目指しております。

当社グループの事業セグメントは、「IT人材事業（国内）」、「IT人材事業（海外）」、「Seed Tech事業」の3事業で構成されております。

当中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）における我が国の経済は、個人消費の持ち直しが見られるものの、物価高騰や円安が消費者の購買意欲に強い圧力を与えております。また、米国の通商政策をはじめとする海外の政策動向の影響もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下において、当社グループは、これまで培ってきたITフリーランスおよびオフショアIT人材活用のノウハウを活かし、事業ポートフォリオの最適化に向けたグループ戦略の見直しを進めてまいりました。

また、技術リソースのシェアリングやITエンジニア育成サービスなどの既存事業に加え、デジタル人材育成による中小企業向けDX推進支援、ソフトウェア開発支援など、新たな事業領域の拡大にも取り組んでおります。

今後は、DXの進展やAI技術の活用拡大により国内のIT市場規模は大きく拡大することが見込まれる中、日本のIT人材不足という社会課題の解決を通じて、さらなるグループ成長を実現してまいります。

当中間連結会計期間の売上高は12,891,665千円（前年同期比5.8%増）、営業利益は437,647千円（前年同期比126.2%増）、経常利益は427,562千円（前年同期比114.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は343,659千円（前年同期比109.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

#### <IT人材事業（国内）>

IT人材事業（国内）におきましては、事業は堅調に推移いたしました。ITフリーランス領域において新規取引企業数が伸長したことや、ダイレクトマッチングサービスが好調に推移したことが業績に寄与しました。

従前より、生成AIを活用した業務効率化に重点的に取り組み、情報入力工数の削減やデータ活用の自動化など、生産性向上に繋がる各種施策を進めておりましたが、AI活用とAI教育をさらに推進し、「知識集約型」のビジネスモデルを構築すべく先を見据えた事業体制作りを進めております。

この結果、当中間連結会計期間における当該事業分野の売上高は8,248,675千円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益は670,207千円（前年同期比13.3%増）となりました。

#### <IT人材事業（海外）>

IT人材事業（海外）は、オーストラリアでカジュアル雇用人材やフリーランスを活用したIT人材に特化した人材関連事業を展開しているLaunch Group Holdings Pty Ltdの業績を織り込んでおります。人材派遣事業やMSP事業（包括的な人材管理ソリューションを提供する事業）を主にシドニーとメルボルンで展開しております。当連結会計年度は、経営体制の見直し、各固定費の圧縮、営業注力するセグメントの見直し等を行い利益率の改善を進めております。

この結果、当中間連結会計期間における当該事業分野の売上高は4,427,615千円（前年同期比2.8%減）、セグメント利益は21,256千円（前年同期はセグメント損失94,494千円）となりました。

<Seed Tech事業>

Seed Tech事業におきましては、日本とフィリピンに拠点を構え、IT人材の育成を軸にした事業を行っております。オフショア開発受託事業やフィリピンセブ島へのIT留学事業、SaaS型デジタル人材育成サービス「ソダテク」の提供など幅広く事業展開しております。当連結会計年度より、中小企業向けデジタル人材提供サービス「DX職-デジショク」の提供を開始いたしました。デジタル人材不足により、DXやAIの活用が思うように進んでいない中小企業をサポートすることで、「IT人材不足」という社会課題を解決してまいります。

この結果、当中間連結会計期間における当該事業分野の売上高は243,798千円（前年同期比50.4%増）、セグメント利益は37,411千円（前年同期比1,065.0%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産・負債及び資本の状況

(流動資産)

当中間連結会計期間末の流動資産の残高は前連結会計年度末と比較して320,962千円増加し、6,773,082千円となりました。これは主に売掛金及び契約資産が132,798千円、現金及び預金が110,351千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末の固定資産の残高は前連結会計年度末と比較して78,414千円減少し、844,369千円となりました。これは主に敷金及び保証金が42,933千円、のれんが18,043千円、顧客関連資産が12,007千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末の流動負債の残高は前連結会計年度末と比較して377,032千円増加し、3,029,380千円となりました。これは主に未払費用が196,858千円、未払法人税等が144,299千円、短期借入金が125,317千円増加した一方で、未払消費税等が94,825千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末の固定負債の残高は前連結会計年度末と比較して151,749千円減少し、1,699,659千円となりました。これは主に繰延税金負債が7,276千円増加した一方で、長期借入金が133,708千円、社債が13,000千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産の残高は前連結会計年度末と比較して17,265千円増加し、2,888,412千円となりました。これは主に利益剰余金が240,354千円増加した一方で、新株予約権が71,882千円、資本剰余金が70,837千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は前連結会計年度末に比べ110,351千円増加し、3,716,964千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、営業活動による資金の増加は390,302千円となりました（前年同期は137,042千円の支出）。これは主に、税金等調整前中間純利益504,226千円、売上債権及び契約資産の増加額164,267千円、未払費用の増加額207,337千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、投資活動による資金の増加は50,997千円となりました（前年同期は8,359千円の支出）。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入48,557千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、財務活動による資金の減少は329,498千円となりました（前年同期は247,551千円の支出）。これは主に、配当金の支払額103,244千円、長期借入金の返済による支出135,234千円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出103,541千円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年10月27日の「2026年3月期第2四半期（中間期）及び通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,606,612	3,716,964
売掛金及び契約資産	2,730,763	2,863,561
貯蔵品	101	119
前渡金	9,930	22,371
前払費用	54,552	100,084
その他	61,167	76,240
貸倒引当金	△11,007	△6,260
流動資産合計	6,452,119	6,773,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,906	6,016
車両運搬具(純額)	109	89
工具、器具及び備品(純額)	3,099	2,720
リース資産(純額)	11,232	4,566
有形固定資産合計	21,348	13,393
無形固定資産		
のれん	282,685	264,641
顧客関連資産	356,235	344,227
その他	1,176	1,355
無形固定資産合計	640,096	610,223
投資その他の資産		
投資有価証券	25,895	31,231
敷金及び保証金	134,113	91,179
長期前払費用	6,677	5,256
繰延税金資産	30,195	30,655
その他	64,458	62,430
投資その他の資産合計	261,339	220,753
固定資産合計	922,784	844,369
資産合計	7,374,904	7,617,452

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,247,765	1,247,169
未払金	205,181	154,035
未払費用	301,201	498,060
短期借入金	40,610	165,928
1年内償還予定の社債	26,000	26,000
1年内返済予定の長期借入金	269,744	268,218
リース債務	67,468	19,931
未払法人税等	23,404	167,703
未払消費税等	318,731	223,906
契約負債	53,185	47,935
預り金	78,483	185,312
その他	20,570	25,178
流動負債合計	2,652,347	3,029,380
固定負債		
社債	27,000	14,000
長期借入金	1,687,298	1,553,590
リース債務	21,989	14,219
繰延税金負債	84,049	91,326
退職給付に係る負債	18,573	13,488
資産除去債務	1,857	1,866
その他	10,640	11,168
固定負債合計	1,851,408	1,699,659
負債合計	4,503,756	4,729,039
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,112,363	1,112,363
資本剰余金	1,062,306	991,468
利益剰余金	502,712	743,067
自己株式	-	△48,997
株主資本合計	2,677,382	2,797,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,696	957
為替換算調整勘定	90,855	84,666
その他の包括利益累計額合計	88,159	85,624
新株予約権	76,664	4,781
非支配株主持分	28,942	104
純資産合計	2,871,147	2,888,412
負債純資産合計	7,374,904	7,617,452



(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	12,183,230	12,891,665
売上原価	10,463,855	10,948,022
売上総利益	1,719,375	1,943,643
販売費及び一般管理費	1,525,878	1,505,995
営業利益	193,497	437,647
営業外収益		
受取利息	1,265	4,751
業務受託収入	6,000	-
受取賃貸料	4,053	3,595
資産除去債務戻入益	4,145	-
為替差益	306	-
保険解約返戻金	-	4,590
その他	359	796
営業外収益合計	16,129	13,733
営業外費用		
支払利息	10,255	20,406
社債利息	-	205
為替差損	-	2,225
その他	-	981
営業外費用合計	10,255	23,819
経常利益	199,372	427,562
特別利益		
新株予約権戻入益	1,597	76,664
特別利益合計	1,597	76,664
税金等調整前中間純利益	200,969	504,226
法人税、住民税及び事業税	53,077	151,172
法人税等調整額	2,364	4,379
法人税等合計	55,441	155,552
中間純利益	145,527	348,673
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△18,781	5,014
親会社株主に帰属する中間純利益	164,309	343,659

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	145,527	348,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,836	3,654
為替換算調整勘定	65,508	△7,336
その他の包括利益合計	62,671	△3,682
中間包括利益	208,199	344,991
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	208,098	341,124
非支配株主に係る中間包括利益	100	3,866

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	200,969	504,226
減価償却費	56,501	20,768
のれん償却額	-	18,043
株式報酬費用	6,222	4,691
新株予約権戻入益	△1,597	△76,664
保険解約返戻金	-	△4,590
貸倒引当金の増減額(△は減少)	838	△4,654
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△5,084
受取利息及び受取配当金	△1,265	△4,752
支払利息	10,255	20,406
社債利息	-	205
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△287,646	△164,267
棚卸資産の増減額(△は増加)	-	△17
仕入債務の増減額(△は減少)	11,805	1,023
未収入金の増減額(△は増加)	-	275
契約負債の増減額(△は減少)	10,999	△4,460
未払金の増減額(△は減少)	△74,366	△44,976
未払費用の増減額(△は減少)	268,233	207,337
未払又は未収消費税等の増減額(△は減少)	△39,617	△85,243
その他	△30,970	29,497
小計	130,360	411,765
利息及び配当金の受取額	1,265	5,751
利息の支払額	△10,357	△20,470
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△258,311	△6,743
営業活動によるキャッシュ・フロー	△137,042	390,302
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,520	△832
有形固定資産の売却による収入	112	-
無形固定資産の取得による支出	△1,338	△280
敷金及び保証金の差入による支出	△22,375	△5,938
敷金及び保証金の回収による収入	17,762	48,557
保険積立金の解約による収入	-	4,590
事業譲渡による収入	-	5,000
その他	-	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,359	50,997
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	-	126,340
社債の償還による支出	-	△13,000
長期借入金の返済による支出	△86,004	△135,234
リース債務の返済による支出	△58,276	△51,911
自己株式の取得による支出	-	△48,997
配当金の支払額	△103,270	△103,244
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△103,541
その他	-	90
財務活動によるキャッシュ・フロー	△247,551	△329,498
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,814	△1,449
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△385,138	110,351
現金及び現金同等物の期首残高	3,749,726	3,606,612
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,364,588	3,716,964

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力 発生日
2024年5月10日 取締役会	普通株式	利益剰余金	103,256	10.00	2024年3月31日	2024年6月11日

- 2 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力 発生日
2025年5月14日 取締役会	普通株式	利益剰余金	103,304	10.00	2025年3月31日	2025年6月13日

- 2 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力 発生日
2025年11月13日 取締役会	普通株式	利益剰余金	102,426	10.00	2025年9月30日	2025年12月1日

3 株主資本の著しい変動

(子会社株式の追加取得)

当社は、2025年8月29日付で連結子会社であるLaunch Group Holdings Pty Ltdの株式を追加取得し、完全子会社といたしました。この結果、当中間連結会計期間において資本剰余金が70,837千円減少し、当中間連結会計期間末において資本剰余金が991,468千円となっております。

(自己株式の取得)

当社は、2025年6月27日開催の取締役会において、当社普通株式200,000株、取得価額の総額100,000千円を上限とした自己株式の取得を決議し、当中間連結会計期間において当社普通株式87,800株を48,997千円で取得いたしました。この自己株式の取得により、当中間連結会計期間末において自己株式が48,997千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間 連結損益計算書 (注) 3
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	Seed Tech 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,429,299	4,555,929	158,239	12,143,468	39,762	12,183,230	—	12,183,230
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,670	—	3,840	9,510	—	9,510	△9,510	—
計	7,434,969	4,555,929	162,079	12,152,978	39,762	12,192,740	△9,510	12,183,230
セグメント利益 又は損失(△)	591,719	△94,494	3,211	500,436	△14,401	486,035	△292,537	193,497

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギークス㈱のx-Tech事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△292,537千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△298,537千円及びセグメント間消去取引6,000千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 主要な地域別の売上高に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	Seed Tech 事業	計		
売上高						
国内(日本)	7,429,299	—	158,239	7,587,538	39,762	7,627,301
豪州	—	4,555,929	—	4,555,929	—	4,555,929
外部顧客への売上高	7,429,299	4,555,929	158,239	12,143,468	39,762	12,183,230

(注) 外部顧客への売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間 連結損益計算書 (注) 2
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	Seed Tech 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,224,091	4,427,615	239,958	12,891,665	—	12,891,665
セグメント間の内部売上高又は振替高	24,584	—	3,840	28,424	△28,424	—
計	8,248,675	4,427,615	243,798	12,920,090	△28,424	12,891,665
セグメント利益	670,207	21,256	37,411	728,875	△291,227	437,647

(注) 1. セグメント利益の調整額△291,227千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△301,127千円及びセグメント間消去取引9,900千円が含まれております。

2. セグメント利益の合計額と調整額の合計は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 主要な地域別の売上高に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	Seed Tech 事業	計
売上高				
国内(日本)	8,224,091	—	239,958	8,464,049
豪州	—	4,427,615	—	4,427,615
外部顧客への売上高	8,224,091	4,427,615	239,958	12,891,665

(注) 外部顧客への売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において「その他」に含まれていたx-tech事業について、2025年3月31日付で当該事業を事業譲渡したことに伴い、当中間連結会計期間より「その他」の区分を廃止しております。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

子会社株式の追加取得

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称 Launch Group Holdings Pty Ltd (純粋持株会社)

事業の内容 IT人材特化型の人材サービス事業

MSP事業(顧客の人材調達から管理までの一連のプロセスの包括的管理システムを提供する事業)

(2) 企業結合日

2025年8月29日(みなし取得日 2025年6月30日)

(3) 企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得

(4) 結合後企業の名称

変更はありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

追加取得した株式の議決権比率は30%であり、当該取引によりLaunch Group Holdings Pty Ltdを当社の完全子会社といたしました。当該追加取得は、グループ会社としての相乗効果を一層高め、当グループ全体の経営効率をさらに向上させることを目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しております。

3. 子会社株式の追加取得に関する事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	103,541千円
取得原価		103,541千円

4. 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

(1) 資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

(2) 非支配株主との取引によって減少した資本剰余金の金額

70,837千円